

2017年9月27日
CODE BLUE事務局

日本発のセキュリティ国際会議 CODE BLUE 全講演発表 全トレーニング・全コンテストも同時発表

オープニングはNATO法律顧問による国家とサイバースペース
クロージングは自動運転をオープンソースで推進するGeohot氏
全トレーニング、全コンテスト 登録受付中
カンファレンス 事前登録受付中

CODE BLUE実行委員会は9月27日、サイバーセキュリティに特化した日本発の国際会議CODE BLUE
(2017年11月7日-10日開催、於：東京・新宿)は、基調講演にNATOの法律顧問パトリック・オキーフ氏およびオープンソースによる自動運転支援ツール開発のGeohot氏を迎え、全講演と全トレーニング、全コンテストの詳細を発表します。

CODE BLUE 公式サイト <http://codeblue.jp/>

■トレーニング

※受講費は全て税込、カンファレンス参加費込みです。

<2日間トレーニング>

ICS/SCADAセキュリティトレーニング (攻撃手法と解析手法)

受講費 : 298,000円

受講人数 : 17名(最小催行人数5名)

セキュリティDevOpsトレーニング

受講費 : 200,000円

受講人数 : 20名 (※最少催行人数6名)

<1日間ワークショップ>

高度JTAGとChip-Offフォレンジック

受講費 : 110,000円

受講人数 : 15名 (※最少催行人数8名)

詳細はこちら><https://codeblue.jp/2017/contents/training.html>

■全講演一覧

<基調講演>

基調講演1：サイバースペースにおける国家主権

パトリック・オキーフ(ドイツ NATO)

基調講演2：オープンソースのソフトウェアを使ってあなたの車を自動運転にする

ジョージ・ホッツ(米国・Comma.ai)

[プレスリリース]

<ジェネラルトラック>

サイバーセキュリティのための国家安全保障と官民パートナーシップ：強みと課題

ステファノー・ミリ (イタリア大西洋委員会のサイバーセキュリティ委員会委員長)

AlphaBay Market - サイバー犯罪リーダーの事後分析

クリスティ・クイン(イギリス iDefense - Accenture Security)

日本を狙うAPT攻撃の全体像 - APT攻撃インシデントSTIXデータベース -

久保啓司&添田洋司(日本 JPCERT)

<ユーストラック[U20:20歳以下]>

・ **ジェイルブレイク - iOSジェイルブレイクのための見事な保護**

オオツカ・カオル(日本 早稲田大学高等学院)

・ **事例から考える脆弱性と法**

橋本早記&武田真之 (日本 慶應義塾大学)

<テクニカルトラック>

・ **インサイドShell：.NETハッキング技術を応用したPowerShell可視性の向上**

丹田賢 (カナダ CrowdStrike)

・ **Androidカーネルに存在する特異なUse-after-freeバグの 익스プロイト手法**

ディ・シェン (中国 Keenlab of Tencent)

・ **商用ホワイトボックス暗号方式" に対する "鍵回復攻撃"**

アンサン・ファン (日本 LINE)

・ **大義のために：趣味と実益のためのVMware PRCインターフェースの活用**

アブドゥルアジズ・ハリリ&ジャジル・スペルマン&ブライアン・ゴーレンク(カナダ/米国

TrendMicro-ZDI)

・ **国産IT資産管理ソフトウェアの (イン) セキュリティ**

西村宗晃 (日本 リクルートテクノロジーズ)

・ **ARM64の演習の楽しさと実践**

ジャック・タン&ムーニー・リー&セブン・シェン (中国 TrendMicro)

・ **Industroyer: 産業制御システムに対するStuxnet以来最大の脅威**

アントン・チェレパノフ&ロバート・リポヴスキー (ロシア/スロバキア ESET)

・ **HTTP/2 クライアントのパッシブフィンガープリント**

オリー・シガール&エラド・シャスター(イスラエル Akamai)

・ **SSRFの新時代 - 有名プログラミング言語のURLパーサーを攻撃！**

オレンジ・サイ (台湾 DEVCORE)

・ **Trueseeing: Dalvik オペコードに対する効果的なデータフロー解析**

ヨシムラ・タカヒロ&ヤオシマ・ケン(日本 Monolith Works)

・ **マン・イン・ザ・NFC**

ハオチー・シャン (中国 Qihoo 360)

・ **攻撃者の行動を追跡せよ -行動パターンに基づく横断的侵害の把握と調査-**

朝長秀誠&ムタ・ケイスケ(日本 JPCERT/CC)

・ **LG 対 Samsung スマートスマートテレビのトラッキング機能対決**

セングミン・リー&ミンス・パク&センジュー・キム (韓国 CIST Korea University)

・ **Androsia:メモリ内のAndroidアプリケーションデータを安全に確保するための一歩**

サミット・アンワー(インド Citrix R&D India)

・ **Step-Oriented Programming による任意コード実行の可能性**

坂井弘亮 (日本)

詳細はこちら > <https://codeblue.jp/2017/contents/speakers.html>

[プレスリリース]

■全コンテスト一覧

- 1) **Practical CAN bus hacking** - 自動車のCANバスハッキング
- 2) **Hac2Win** - IoT機器のハッキング
- 3) **CODE BLUE CTF** - 日本のトッププレイヤーによる国際CTF
- 4) **Ghost in the shell REALIZE PROJECT x SECCON CTF for GIRLS in CODE BLUE** - 女性限定の国際CTF
- 5) **ICS CTF** - 産業制御系セキュリティのCTF

詳細はこちら><https://codeblue.jp/2017/contents/contests.html>

■開催概要

会期：

- ・トレーニング 2017年11月07日（火）～11月08日（水）（※1Dayセミナー含む）
- ・カンファレンス 2017年11月09日（木）～11月10日（金）
- ・コンテスト 2017年11月09日（木）～11月10日（金）（※1Dayコンテスト含む）

会場：ベルサール新宿グランド 1F/5F（東京都新宿区）

主催：CODE BLUE 実行委員会

参加費(税込)：

- ・トレーニング
 - 1)2日間演習：ICS/SCADAセキュリティトレーニング（攻撃とその分析方法）298,000円
 - 2)2日間演習：セキュリティDevOpsトレーニング 200,000円
 - 3)1日間演習：高度JTAG半田付けとChip-Off 1Day Workshop 110,000円
- ・カンファレンス 通常68,000円/レイト98,000円/当日120,000円
- ・コンテスト 無料

登録詳細：<http://codeblue.jp/2016/registration/>
[peatix] <http://cb2017.peatix.com/>

定員：1,000名

その他：全編同時通訳付き

公式サイト：<http://codeblue.jp/>

SNS：

[Twitter] @codeblue_jp

[Facebook] <https://www.facebook.com/codeblue.jp>

【CODE BLUE実行委員会】

<実行委員長>

佐々木 良一 東京電機大学 教授

<実行委員（五十音順 オブザーバ含む）>

新井 悠 トレンドマイクロ株式会社

鵜飼 裕司 株式会社FFRI

歌代 和正 一般社団法人 JPCERTコーディネーションセンター

菊池 浩明 明治大学

篠田 佳奈 株式会社BLUE

高橋 郁夫 駒澤総合法律事務所

[プレスリリース]

竹迫 良範 SECCON実行委員長
はせがわ ようすけ 株式会社セキュアスカイ・テクノロジー
丸山 満彦 デロイト トーマツ リスクサービス株式会社
山崎 圭吾 株式会社ラック

【情報セキュリティ国際会議CODE BLUEについて】

世界トップクラスのサイバーセキュリティ専門家による最先端の講演と、国や言語の垣根を超えた情報交換・交流の場を提供する国際会議です。世界各国の研究者を招聘し、日本をはじめとする非英語圏にいる優れた研究者を発掘し、その研究成果を世界へと発信しています。また、24歳以下の次世代研究者の国際会議での講演や、海外の技術者との交流を促進しています。

【この件に関するお問い合わせ先】

[会社名] 株式会社BLUE
[部署名] CODE BLUE事務局
[担当者名] 篠田佳奈
[TEL] 050-5809-7401（代表） / 050-5809-7402（直通）
[Email] press@codeblue.jp